

\*\*\*\*\*

\*\*\*平成4年を振り返って\*\*\*

委員長 新藤 英雄

今年は、4月から6月まで、降雨リズムと行事のテンポが合ってしまった、月例会が3度、WEEKDAY交歓会が2度流れてしまい、大変ご迷惑をおかけしましたが、7月以降は、予定の行事をすべて実施できましたので、ホッとしました。

諸行事を通じて私が特に嬉しく思いましたことは、会員の皆様が多数3大会（年齢別ダブルス、混合ダブルス、技量別ダブルス）に参加して、勝負に拘りながらプレーを楽しんでいるお姿が拝見できたり、第2回東北シルバーテニス交流大会で、昨年に続いて団体優勝（選手が全員当連盟会員）をしたこと、そして、他県のテニス関係者が、当連盟が、行事予定表を作り、計画的に練習の場を設けていることに非常に関心を示していること等です。しかし、チョッピリ気掛りなこともありました。それは、月例会の参加人数が、回を重ねるごとに減少していることでもあります。大勢の会員の皆様が諸行事に参加して、テニスを楽しんで頂くことが、私共役員の張り合いであります。今後とも、諸行事について、より楽しいテニス出来るように努力してまいりたいと思っておりますので、来年も引き続き、皆様が多数行事に参加されますよう、お願い申し上げます。

\* \* \* \* \*

★平成4年度後期委員総会報告★

平成4年度後期委員総会が12月5日（土）17時よりろうふく会館会議室で開催されましたので報告いたします。

■出席者：新藤委員長

- (代表委員) 石亀希男 久保寿一 山本忠
川上秀之 田中稔 岡崎幸子 菅野志津子
玉置雪枝 渋谷陽子
(運営委員) 菅野義治 庄司則克 井沢秀雄
本間満雄 福山昌利 酒井倭子 渋谷妙子
(幹事) 大賀延行 高橋龍夫

■議題

- ① 委員長挨拶：新藤委員長より本年度の事業計画が前半は雨でいくつか中止されたが、概ね成功裡に実施出来た旨の報告がなされた。
② 報告事項
i 会員移動：12月5日現在の会員数、男子会員192名、女子会員139名、家族会員65組、会員総数331名と報告された。
ii 競技担当委員より資料(平成4年度事業報告)に基づいて競技会実施等について報告がなされた。

iii 広報担当委員より会報14号が12月25日に発行される旨の報告があった。

iv 会計担当委員より資料に基づき12月5日現在の収支状況についての説明が行われ、概ね予算通りであると報告された。

v 新藤委員長より東北シルバーテニス交流会とねんりんピックの試合結果についての報告が行われた。

vi 会員死亡退会者に弔電打電の申し出があり、全員一致で承認された。 P2へ続く



目次

Table with 3 columns: Item, Name, Page. Includes items like '平成4年を振り返って' (1), '平成4年度後期委員総会' (1), '東北シルバーテニス交流大会報告' (2), etc.



## ② 協議事項

- i 平成5年度運営委員の選出について協議が行われ、規約により今期で退任する庄司、菅野、酒井、首藤、福山(自己都合)の5氏運営委員を除く他の運営委員を再任とし、新たに武出満雄、和田武士、坂爪、玉置雪枝、本間日出子の5氏が新運営委員に選出された。
- ii 平成5年度の行事計画について協議の結果、ほぼ今年度並の行事を実施することとし、会場確保の関係から、日時、会場については後日決定することとなった。

iii 委員会等諸経費について委員長より次のように提案がなされ、承認された。運営委員に対して退任時、3年間の謝礼として、記念品を贈呈する。自己都合による退任の場合も同等のあつかいとするとし、金額については運営委員会に一任された。山本委員より、幹事にたいする謝礼の提案があり、平成4年度より支出することとし、額については運営委員会に一任された。

以上

## 第2回 東北シルバーテニス交流大会 宮城県団体優勝

新藤 英雄

上記交流大会は、次のように行われ、宮城県が昨年に引き続いて団体優勝しました。

- ① 期日 平成4年9月2, 3日  
② 会場 秋田市八橋テニスコート  
③ 参加 東北6県108名  
④ 試合 9月2日 予選リーグ  
9月3日 順位決定戦

### ⑤ 成績(個人)

男子60歳以上	優勝	中村、神松組
	4位	本間、鈴木組
男子65歳以上	2位	上山、武田組
	3位	久保、室賀組
男子70歳以上	優勝	新藤、川上組
	3位	岩月、花淵組
女子55歳以上	3位	石垣、梅崎組
	8位	吉田、坂爪組
女子60歳以上	3位	庄司、桜井組
	4位	菊田、奥井組

### (団体)

1位	宮城県	98点
2位	福島県	85点
3位	秋田県	74点
4位	岩手県	43点
5位	青森県	39点
6位	山形県	37点

以上

## ◆東北シルバーテニス交流大会に参加して◆

石垣 晴子

まだまだ残暑の厳しい9月2, 3日東北シルバーテニス交流大会が東北6県の精鋭を集めて秋田市八橋公園テニスコートで開催されました。各県10チーム編成で年齢別12チームのA, Bブロックリーグ戦と決勝トーナメントで熱戦が繰り広げられました。夜半に雨混じりの強風が吹いたりして、好天に恵まれたとはいえませんでした。まずまずのテニス日和で、役員の方々はどなりホッとしたことと思います。コートではカラフルなスコート姿や、今もっている杵柄の腕前にシルバーを感じさせない軽やかさがありました。懇親会では、熱戦の後、シャワーを浴びて華やかに装った美男美女がコート上とは別人に変身して、自慢ののどやダンスを披露して拍手をあげていました。他県の選手の方々ともお友達になり、来年の再会を約して楽しい一時をすごしました。

宮城県チームは新藤団長のもと25名の参加で、ご夫婦の方が2組おられ、同じ趣味をもたれ仲睦まじく羨ましく思いました。初参加組がおろおろしないようにと、あれこれ面倒をみて下さったお世話役の皆様から感謝いたしております。出発前の楽しみ、旅の楽しさ、試合の緊張感、帰仙してから記念写真(送って下さった方々、有難うございました)を眺めての楽しみ、数々の喜びと思いを本当に有難うございました。宮城県チームは、よく頑張って2位に大差をつけての優勝で皆さん誇らしげでした。テニスを続けてきてよかったとしみじみ思える3日間でした。

◆一日目の今日は、お楽しみ会形式のもので双方のメンバーが入り交じり、午後の半日を楽しみました。さて、今日の泊は木の香りも新しいリゾートイン蔵王メッツです。フランス料理を得意とするこのブチホテルは、今年8月にオープンしたばかり。オーナーの心尽くしの夕食の済んだ後は、賑やかさも最高の宴会へと移り、芸達者ないわきチームの方々には相変わらず脱帽させられました。でも、

P3へ続く

## いわきベテランテニスCとの定期戦

渋谷妙子

9月26日、今日は毎年恒例のいわきVTCとの対抗戦に出発する日です。10時30分車にエンジンをかけ、286号線をひた走り、東北縦貫道に入り、1時間足らずで集合地サンスポーツランド蔵王に着きました。

待つこと1時間、いわきVTCの方々も続々と到着し、一年振りの再会を喜び会いました。そういう私はこの行事に参加するのがこれで2回目です。◆

★今年は宮城チームも負けていなかったのです。とてもチャームングなお姉様達による舞踊団が結成され、その名もチェリーズ。この夜はそのダンスが披露されたのでした。飲んで歌ってその夜も更け、他の部屋ではいよいよ盛り上がっているのも知らずに私は寝てしまったようです。残念！！

27日、二日目は午前9時から本命の対抗戦に入り、青空の広がる中を時々思

い出したように雨が落ちてきて、一寸肌寒さを覚えた日となりましたが、競技も順調に進み、結果はいわきチームの勝ちとなりました。その後、それぞれにゲームを楽しみ、午後3時、来年の福島県での再会を約束して解散となりました。

来年の事を言うと鬼が笑うというけれど、ちっともかまいません。私、絶対参加したいと思ってます。皆様も是非参加してみてください。まずは、健康に乾杯！

## 第6回北京国際ベテランテニス大会 に参加して

久保 寿一

今年で大6回を迎えるこの大会は、去る10月23日から4日間にわたり、中国北京市洗農壇室内テニスコートで開催されました。

日本からは、日本テニス協会佐藤国四郎氏を団長に、私達、宮城県壮年テニス連盟の本間満雄さんご夫妻、齋藤久仁子さん、室賀 創さんと私の5人を含む全国から23人が参加しました。参加国は、中国、日本、タイ、香港、韓国、台北、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、ルクセンブルグの10ヶ国、約200人を越す選手が出場しました。

試合は、男子複A組(70歳以上)、B組(65歳~69歳)、C組(60歳~64歳)、D組(55歳~59歳)、E組(40歳~54歳)、女子複B組(50歳~59歳)、C組(40歳~54歳)、そして、今年から80歳以上の方々を対象とした、グランドシニア戦も加えられ、さらにVIP(有名人)戦という種目もあって、政府要人、党幹部、各国選手団団長等が参加され、それぞれ熱戦が展開されました。入賞をかけての各国選手は、さすがに、熱がこもり、好プレーの連続で、テニスマンらしい真摯なマナーとフェアな応援が続き、試合が終わると、爽やかな笑顔でお互いの健闘を賀え、それぞれの国から持ちよったささやかなプレゼントの交換など、国際親善にふさわしい、心暖まるものがありました。

日本選手も各種目に大健闘、善戦されましたが、他国選手のレベルは高く、優勝は出来ませ

んでしたが、女子B組で3位(齋藤さん出場)男子複A組で5位(佐藤団長出場)、E組で6位とそれぞれ入賞されました。4日間にわたる試合で、各国選手の基本に忠実なプレー、そして、テニスマンとしてのマナーに徹した爽やかな試合態度には、大変学ぶところがありました。

大会が終わって、短い日程ではありましたが、中国各地の観光も楽しみました。中国には貴重な文化的遺跡や、歴史上の所縁の地が多く、特に印象に残った所では、北京の天安門広場、ここは、明の永楽年間につくられ、広さ約40万平米、100万人の集会が出来るということです。そして、万里の長城、2500年前に作られたこの巨大な建造物に、想像もつかない中国悠久の歴史を思い、ただ、驚嘆するばかりでした。また、少数民族と、茅台酒で有名な中国南部貴州省の省都、貴陽にも行きましたが、ここでは、中国最大の瀧、黄果樹瀑布の壮大な眺め、山水秀麗の花溪公園の美しさ、河の巨石の上に建てられた甲秀楼が河に影を落とし、河畔の柳の風に揺られる風景は見事なものでした。ここでは、少数民族のミャオ族、トン族と呼ばれる若い男女の人達が、民族衣装を身に付け、素朴な竹製の楽器と茅台酒で大歓迎をしてくれました。日本人のルーツだということで、何となく親しみが感じられ、心暖まる思いで感激いたしました。

約10間にわたるこの親善テニスと観光の旅は、中国の人たちの暖かい、行き届いた配慮に、深く感謝するとともに、参加各国の人たちとのフレンドリーな交流に、国際親善の実を挙げたことと深く感銘を受けた次第です。

## ■対女子連定期戦に参加して■

浅野 隆郎

「ハイ」、「ナイスプレイ」とソプラノの響きがあり、花から花へ蝶のように舞う。スピードのある返球、あまい、ゆるやかなボールは、ハチの一刺しの如く、ピシッと決まる風景があった。

シベリヤから吹き付けた寒気団が身に感じる11月1日、青葉山公園庭球場では、「対女子連定期戦」が午前10時より開始された。コートでは落ち葉が舞う中に試合は進行してゆく。「女子連」の人々は、的確なストローク、フォアハン

●ドやバックハンドも、かなりスピードとパワーのテニニックをもって応戦する姿が見られた。それは、日頃の練習から育成され、反射神経は青年期のように躍動し、体力も疲労感を感じさせない。スピンボールの応酬などは、腕の振り、手首の返し、腰の回転、重心を低くしながら、脚の伸縮作用がボールに伝振し、スピードになって打ち返してきていた。私も、昨年秋、名古屋から転勤し、この大会に初めての参加である。申込書の提出のとき、「女子連」と伺い、軽く甘いイメージを持っていたが、対戦してい★

P4へ続く

★くとともに、夢は悉く打ち破られる結果になった。特に、ゲームカウントが5-1で勝っているのに、結局は女子軍が6-5で見事に勝利したとき、この体験は生涯忘れることができないものとなるでしょう。  
休養したり、好きなことをする「ゆとり」

があると感じる国民が6割に達しようとしていることが、総理府が発表した「国民生活に関する世論調査」の結果である。これからもテニス人生を満喫しうる人々の充実感を定期戦から学んでいきたいものである。

## ねんりんピック'92やまなし テニス交流大会

仙台市 中村 克宏

本年は11月1日(日)から3日(火)まで甲府市小瀬スポーツ講演庭球場で行われました。仙台市として参加したのは、監督、中村克宏、男子65歳以上、伊藤一利、丸山潔、岩月賢一、花淵武雄、60歳以上、中村克宏、神松伊三郎、女子60歳以上、伊藤久子、今野ミチの8名でした。

結果は、第1日目の予選リーグ戦で一回戦、対兵庫県は0-3、二回戦、対福岡市は1-2でいずれも敗退、決勝トーナメント出場は果たせませんでした。二日目の交歓試合では、ちょっとしたハプニングがありました。交歓試合の内容は、ミックスダブルス(60歳以上)と男子ダブルス(65歳以上)の2つで、全参加チームを3ないし4パートの組に分けその組の中でそれぞれ2試合づつを行うというものでした。そこで組み合わせを見ていきました所、ミックスダブルスで仙台市と宮城県が同一のグループに入り対戦することになっているではありませんか。これにはびっくりして、宮城県代表の本間さんと一緒に運営本部に行き、何とかしてくれと申し入れ、幸いにも変更はしてくれましたが、仙台市が宮城県の中にあることを知らなかったようでした。これに加え、変更になった対戦相手の東京都に、中村、今野組が2-6のスコアで敗れ、後で東京の女子選手の年齢が68歳であったことを知り、二重のショックを受けました。この交歓試合は結局65歳以上男子で、岩月、花淵組が2戦2敗、ミックスは、中村、今野組が1戦1敗、神松、今野組が1戦1勝の成績でした。

予選リンクリーグ(11月1日) 8組

	兵庫県	仙台市	福岡県	茨城県	勝敗	順位
兵庫県		3-0		3-0	2勝	1位
仙台市	0-3		1-2		2敗	
福岡県		2-1		2-1	2勝	2位
茨城県	0-3	1-2			2敗	

仙台市 0-3 兵庫県

仙台市 1-2 福岡県

伊藤・丸山 0-6 今井・尾崎

伊藤・丸山 1-6 砂川・美根

伊藤・今野 0-6 国光・山本

伊藤・今野 1-6 垣内・岡口

中村・神松 3-6 下原・中野

中村・神松 6-2 吉田・垣内

交歓試合(11月2日) 男子ダブルス

岩月・花淵(仙台市) 1-6(兵庫県) 久保田・今永

岩月・花淵(仙台市) 3-6(札幌市) 伊藤・大道

交歓試合(11月2日) 混合ダブルス

中村・今野(仙台市) 2-6(東京都) 山元・丹羽

神松・今野(仙台市) 6-1(愛知県) 河合・伊吹

\*\*\*\*\*

を受けました。この交歓試合は結局65歳以上男子で、岩月、花淵組が2戦2敗、ミックスは、中村、今野組が1戦1敗、神松、今野組が1戦1勝の成績でした。

最後になりましたが、世話役を命じられた私はほとんど無為に過ごし、出発前の雑用の一切を伊藤一利さんがおやりになる結果となりました。何時ものことながら、手際のよい、的確な仕事の進めぶりには感心いたしました。ここにお詫びとお礼を申し上げます。

## ☆ねんりんピック'92やまなし☆

宮城県テニス選手団監督 本間満雄

第5回全国健康福祉祭(ねんりんピック'92)は、10月31日に常陸宮殿下、同妃殿下をお迎えして、山梨県甲府市小瀬スポーツ公園にて秋晴れのなか開会式が行われました。テニス交流大会は翌11月1日~3日にかけて、雪を頂いた南アルプスの山々が望める同公園テニスコート(オムニ16面)で47都道府県並びに12政令指定都市から選手、監督合わせて436名(男子297名、女子139名)により熱戦が繰り広げられま

した。参加最高令者は85歳の男性(千葉県)で、80歳以上9名(男子のみ)、75歳~79歳が22名(内女子4名)にもなり、生涯スポーツとしてのテニスが盛んになっているとの感を深めた次第です。'ねんりんピック選手'は6月に行われた県テニス協会ベテラン委員会・宮城県壮年テニス連盟主管の宮城県シルバーテニス交流会の成績をもとにして、この参加者の中から選ばれたもので、川上秀之(男子65歳以上)、平井正光、本間満雄(男子60歳以上)、奥井紀美子、桜井ノリエ(女子60歳以上)、岡田克巳(男子65歳以上、交歓試合)の7名が宮城県チー★

P5へ続く

予選リーグ(11月1日) 3組

	宮城県	鳥取県	栃木県	福岡市	勝敗	順位
宮城県	—	1-2		0-3	2敗	3位
鳥取県	2-1	—	2-1		2勝	2位
栃木県		1-2	—	0-3	2敗	4位
福岡市	3-0		3-0	—	2勝	1位

宮城県 1-2 鳥取県                      宮城県 1-2 福岡市

川上・多久 3-6 宮崎・武部      川上・多久 0-6 松川・片平  
 桜井・奥井 6-2 赤木・三浦      桜井・奥井 1-6 友谷・小堀  
 平井・本間 2-6 沢村・杉山      平井・本間 5-6 鬼塚・岡

交歓試合(11月2日) 男子ダブルス

岡田・多久(宮城県) 5-6 (神戸市)大多和・中村  
 岡田・多久(宮城県) 6-4 (佐賀県)三島・内田

交歓試合(11月2日) 混合ダブルス

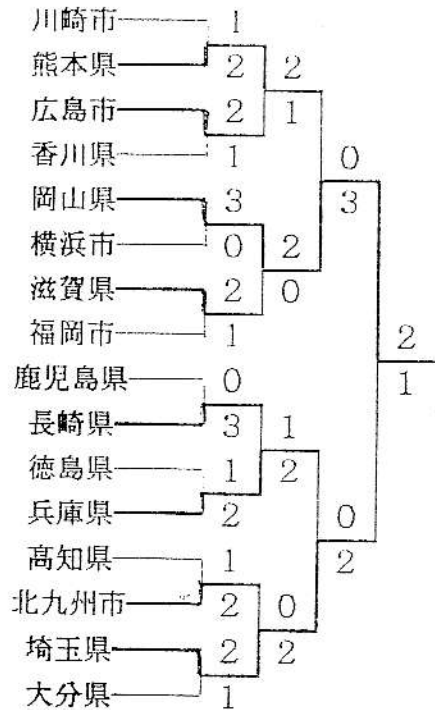
川上・奥井(宮城県) 6-3 (愛知県)河合・伊吹  
 川上・奥井(宮城県) 1-6 (東京都)山元・丹羽

\* \* \* \* \*

★ムとして本大会に参加しました。各選手とも全力を尽くして健闘をしましたが及ばず、下記のような結果で、残念ながら決勝トーナメントに進むことが出来ませんでした。勝ったチームは、一球一球はさほど強くなくても、イージーミスが少なく、よく拾い、チャンスボールを逃さないという当然のことながらの印象が残っております。しかし、全日程共好天に恵

決勝トーナメント(11月3日)

優勝 岡山県  
 準優勝 埼玉県  
 三位 兵庫県・熊本県



\* \* \* \* \*

まれ、「健やかに、伸びやかに、晴れやかに」の大会スローガンのもと、夫々に各県選手との交流を深め有意義に大会を終ることが出来ました。なお、県チームの最長老、川上様には最初から最後までお世話を頂きお礼申し上げます。

宮城県シルバーテニス交流大会について

山本 忠

平成4年6月7日晴天のもと、宮城野原庭球場に於いて、女子55歳以上、男子60歳以上合計44名が参加して第4回表記大会が行われ、楽しい一日を過ごしましたが、本大会とねりんピックの関係について触れてみたいと思います。

昭和63年に第1回のねりんピックが開催され、選手団の選考について宮城県壮年テニス連盟に相談がありました。これをきっかけとして平成元年に第1回宮城県シルバーテニス交流大会が実施されました。

ねりんピックはその目的から、原則として、同じ選手が2年連続して出場できないことになっているので、このシルバーテニス交流大会の成績等を参考として宮城県テニス協会が候補者を選考し、全国健康福祉祭宮城県実行委員会に推薦してきました。今まで、女子の場合には、

参加者が少ないことからこの大会に不参加の方も推薦していたケースもありましたが、本年からはこの大会の出場者の中から推薦することに致しましたので、来年も是非この大会にご参加くださいますようお願い申し上げます。また、昨年より東北シルバーテニス交流大会も発足し、今年は秋田で開催されましたが、この出場選手選考もこれに準じて行われますので申し添えます。

\*「ねりんピック」とは正式名称を「全国健康福祉祭」といい、各県持ち回りで毎年開催され、テニスの他に、卓球、ソフトバレー、弓道、マラソン、ウォークラリー、サッカー、ゴルフなどがあり、県内各市町村で行われます。テニスは女子60歳以上、男子65歳以上、同65歳以上のダブルス3組の団体戦で行われます。本年度の山梨大会は甲府市を中心として6市9町村で行われました。\*

P8へ続く

## 平成4年度各種大会記録

平成4年度に開催された各種テニス大会の記録です。宮城県壮年テニス連盟主催の大会記録は3大会の優勝者です。その他の公式戦を含む対外試合については優勝および準優勝者を記載しました。会員諸氏の活躍の様子を記録として残す意味で毎年後半の会報に掲載いたします。収集洩れも多々あることが予想されます。会員諸氏におかれましては、公式、非公式を問わず、各種の対外試合に参加され、何らかの成果を上げられた場合、あるいは、情報を入手されましたら、ご面倒でも、事務局までお知らせ下さいませようお願い致します。

大会名称	主催、期日、会場	種目	順位	氏名
平成4年度年齢別 ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟 7/12 泉総合運動場	女子40歳	優勝	橋本真紀子 山村紀美子
		女子45歳	優勝	酒井倭子 首藤紀子
		女子50歳	優勝	渋谷陽子 玉置雪枝
		女子60歳	優勝	奥井紀美子 庄司勝子
		男子45歳	優勝	岩月矩之 佐藤克己
		男子50歳	優勝	五島健雄 小野寺嘉郎
		男子55歳	優勝	福山昌利 浅野隆雄
		男子60歳	優勝	川上秀之 松本朝光
		男子65歳	優勝	小野泰祐 室賀 創
平成4年度混合 ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟 8/23 泉総合運動場	Aクラス	優勝	井澤秀雄 和田美代子
		Bクラス	優勝	三浦 翼 三浦美知子
		Cクラス	優勝	岩井隆太郎 加藤りつ子
平成54年度技量別 ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟 10/11 泉総合運動場	Aクラス	優勝	矢野伸二 村上 実
		Bクラス	優勝	有賀吟生 有賀昌子
		Cクラス	優勝	加藤丈夫 鈴木 実
		Dクラス	優勝	伊藤敏子 布留川三枝子
県春期トーナメント	宮城県テニス協会	女子	優勝	後藤美枝子(富田)
		男子45D	優勝	高橋龍夫(川緑)
		男子55D	優勝	中村克宏(落合)
県シングル選手県	宮城県テニス協会 6/28 泉PTC	男子45	準優勝	安田勇 村上実
			準優勝	高橋龍夫
県民大会	宮城県テニス協会 7/19 宮城野原庭球場	男子	優勝	有賀吟生
		壮年D	優勝	高橋昌利(渡辺)
		混合D	準優勝	有賀吟生 有賀昌子
国体テニス宮城県予選	宮城県テニス協会 7/6	男子II部D	優勝	高橋龍夫(川緑)
		女子D	準優勝	後藤美恵子(富田)
東北バテラテニス 選手権大会	東北テニス協会 9/21 棚倉	男子50S	準優勝	高橋龍夫
		男子55D	準優勝	高橋良昌(矢沢)
		男子65S	準優勝	久保寿一 室賀創
		女子45S	優勝	後藤美恵子
市民テニス大会	仙台市テニス協会 8/29 泉総合運動場	男子B	優勝	近晴雄(中条)
宮城県テニス 選手権大会	宮城県テニス協会 9/21 宮城野原庭球場	男子45S	優勝	高橋龍夫
		男子45D	優勝	高橋龍夫(川緑)
		男子45D	準優勝	岩月矩之(佐藤)
		男子55S	優勝	神松伊三郎
		男子55S	準優勝	中村克宏
		男子55D	優勝	中村克宏 神松伊三郎
ダンロップトーナメント 東北決勝大会	東北テニス協会 11/1 泉PTTC	男子55D	準優勝	久保寿一 小野泰祐
		壮年D	優勝	高橋龍夫(川緑)
家婦連テニス大会	家婦連	Aクラス	優勝	日野佑子(山本)
		クイーンクラス	優勝	北島さと(安部)
			準優勝	大和田和子(武田)
東急レイズ'92	9/17		優勝	棚橋美恵子(大浜)
県レイズトーナメント	10/15	Bクラス	準優勝	有賀昌子(三沢)
市民大会	仙台市テニス協会 10/24	壮年S	優勝	福山昌利
		壮年D	優勝	有賀吟生 五島健雄
		混合D	準優勝	有賀吟生 有賀昌子

## 平成4年度新入会、退会員名簿

会報13号発行以後次の方々が入退会されましたのでご紹介いたします。

会員総数は331名、男子会員192名、女子会員139名、家族会員65組です。

月日	氏名
4/6	松坂真砂子 松村理治 松村 久 阿蘇正二 玉置康雄
4/7	高橋清次
4/15	斎藤良子
4/16	小林富美子
4/21	五嶋重弘 森 紀彦
4/24	千葉 実 玉川勝洋 清子 山田 稔 与志子
4/24	大槻良子
4/28	緒方八重子 吉田清枝
5/6	田中直良
5/7	布留川修
5/8	吉田季子
5/9	伊藤睦子
5/22	飯沼幸栄
5/24	山村紀美子 佐藤克巳
5/27	加藤宣雄
5/29	泉田三起子
6/5	鈴木敏子 関 丈男
6/10	小松孝太郎 上所 操
6/21	塚原朋一 塚原祥子
7/20	河合英夫 河合伸子 猿橋和子
7/27	源波 理
7/29	牛田洋一 牛田美代子
7/29	阿部栄子
8/2	花田恵子
8/24	南谷祐洋 加藤丈夫 加藤信子 田中妙子 鈴木 実
8/28	松田いわ子
9/8	安孫子健一 安孫子登喜子
9	矢野伸二
9/22	首藤久子
9/28	牛嶋邦昭 牛嶋光枝
9/29	矢田吉明
10/8	高橋利次
10/26	小原和夫 伊東清志 伊東はつ子

※「東北シルバーテニス交流大会」とは年輪ピックなどで顔見知りになりながらなかなか交流が出来ない東北各県の皆さんと交流試合や夜の交歓会を行うもので、女子55歳以上、60歳以上、男子60歳以上、65歳以上、70歳以上の

5種目のダブルス個人戦および各県対抗の団体戦で覇を競うもので、昨年は岩沼グリーンピアで第1回大会を行い、今年は秋田で第2回大会が行われました。今年度の大会には宮城県から26名の選手が参加致しました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【平成4年度事業報告】

平成4年度に開催された宮城県壮年テニス連盟行事の一覧です。年度初めは降雨のため、月例会等が流会となりましたが、3大大会も皆さんのご協力が無事に実施できました。来年度の行事参加の資料にいただければ幸いです。

月 日	行 事	参加人数	会 場
1/15	室内ダブルス大会 I	32	麒麟SC
2/11	室内ダブルス大会 II	43	麒麟SC
5/24	年齢別ダブルス大会(降雨中止)	104	泉総合運動場
6/10	WEEKDAY交歓会	39	宮城野原庭球場
7/12	年齢別ダブルス大会	104	泉総合運動場
7/28	WEEKDAY交歓会	42	青葉山公園庭球場
8/19	WEEKDAY交歓会	31	青葉山公園庭球場
8/23	混合ダブルス大会	72	泉総合運動場
9/8	WEEKDAY交歓会	30	青葉山公園庭球場
9/20	月例会	31	青葉山公園庭球場
9/27, 28	対いわきVTC親善試合		蔵王
10/6	WEEKDAY交歓会	29	泉総合運動場
10/11	技量別ダブルス大会	94	泉総合運動場
10/18	月例会	20	青葉山公園庭球場
11/1	対女子連定期戦		青葉山公園庭球場
11/12	WEEKDAY交歓会	31	宮城野原庭球場
12/5	懇親会	63	ろうふく会館

以上の他に、2回の委員総会、11回の運営委員会を開催

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

■■室内ダブルスを楽しむ会■■

恒例の室内ダブルスを楽しむ会を開催いたします。麒麟SCのご協力を得て、麒麟SC広丁室内コート(ハードコート)3面を利用して行います。麒麟SCの都合により、平成5年度は1月15日(祭日)の1回だけの開催となります。待ち時間を少なくし、テニスを満喫していただくために、参加人数を36名に限定させていただきます。申込順に36名で打ち切らせて頂ます。必ずハガキを用いてパートナーのある場合は連名で事務局宛てに申し込

んで下さい。申込はこの会報が届き次第受け付けます。参加出来る方には1月12日までにご連絡申しあげます。当日のキャンセルはご遠慮下さい。

記

期日 時間 1月15日(祭日) 9:30~18:30  
会場 麒麟SC広丁室内コート  
参加料 2500円/人

参加時間は自由です。ご都合の良い時間にお出かけ下さい。

お礼とお詫び

会報14号の発行に際し、沢山の会員の方々からご寄稿を頂きました。今後も会員諸氏の体験談(テニスに限りません)等の掲載を予定しております。よろしくお願いたします。紙面の都合により、「シーズ」より楽しい「テニス」は掲載出来ませんでした。次号をお楽しみに。

編集発行 宮城県壮年テニス連盟運営委員会